

埼玉県議会議員

# 山根ふみ子県政レポート



【発行】埼玉民主フォーラム川越支部 川越市古市場 427-1 TEL 049-257-6682 FAX 049-257-6683

## 9月定例議会報告

8月の埼玉県知事選挙において当選を果たされた大野知事のデビュー戦となる定例議会が9月20日開会しました。各会派から知事に対し今後の県政運営について知事に問われ、今春、おかげさまで2期目の当選を果たした山根ふみ子議員も会派を代表し一般質問に立ちました。

質問内容は、労働環境の改善、教育、人権問題など10項目に及びました。具体的な内容は次の通りです。

1. 知事の県政への基本姿勢について
2. 性的少数者（LGBT など）の諸課題について
3. JR川越線荒川橋りょうの複線化仕用の架換えについて
4. PTAの改革について
5. がん対策について
  - (1) 女性特有のがん患者の就労支援について
  - (2) がんゲノム医療の促進について
6. 健康マイレージ事業の拡充について
7. 健康経営を活用した働く女性の労働環境の改善について
8. 外国人労働者の受入れの拡充について
9. 教育支援システムの導入について
10. 県道川越日高線の交差点整備について



### 【知事の県政への基本姿勢について】

**山根**：知事は、先の知事選挙において、各種世論調査で劣勢が伝えられる中で、最終的にドラマのような大逆転勝利をおさめられました。何が勝利の要因であったとお考えになられているのでしょうか。県民が何をどう知事に求め、期待されての審判であったと考えられているのか、お聞かせください。

**知事**：県民の皆様からは、社会の大きな変化にしっかりと対応し、埼玉県の未来を託すことのできるリーダーを求めていると感じました。現状分析に基づくきめ細やかな施策をお示しし、一つ一つ丁寧に説明させて頂いたことが、勝因ではないかと考えております。

**山根**：社会の大きな変革期を迎えている今、県民の皆様のご期待に応え「日本一暮らしやすい埼玉県」を実現するために、県政のかじ取りへの意気込みをお聞かせください。

**知事**：参議院時代に培った「調整能力」、外交官や中東地域の専門家として培った「国際感覚」、社会奉仕団体の代表を経験して培った「マネジメント能力」を生かしてまいります。ラグビーワールドカップ2019や東京2020オリンピック・パラリンピックでは、これまでの経験や国内外の人的ネットワークを最大限に生かすなど、国際社会の動きも踏まえながら、多文化共生社会の実現を目指してまいります。～一部省略～

何よりも大事にしたいのが「県民本位、県民が主語の県政の推進」であります。県民の皆様と直接お話しをする「どこでも知事室」を新たに設けるなど、しっかりと県民ニーズを吸い上げてまいります。

### 【PTAの改革について】

**山根：**朝日新聞が4年前に行った全国規模のアンケート調査によると、PTAの不要論が埼玉県では必要論を上回っています。全国平均でも不要論が多数を占めているという実態は軽視すべきではありません。

社会環境、家庭環境が激変している状況を直視し、実情に合ったPTAの在り方を模索する時期を迎えているのではないのでしょうか。

活動を簡素化することができないのか、会費の透明性は確保されているのか、父親の参加に工夫はできないのか、特に今、高齢社会に在っては児童・生徒の元気な祖父母の参加を促すことは時宜（じき）にかなった判断であると思うのですが、市町村との連携の中でどのようにお考えになっているのか、ご答弁を求めます。

**部長：**市町村や埼玉県PTA連合会と情報共有を行い、各PTAの参考となるよう、役員研修会などにおいて、好事例の紹介や指導助言を行ってまいります。

今後とも保護者の負担が軽減され、祖父母を含む多くの保護者が参加し、PTA活動がより充実できるよう支援してまいります。

### 【健康経営を活用した働く女性の労働環境改善について】

**山根：**経済産業省2018年1月働く男女5422名を対象とした「働く女性の健康推進に関する実態調査」によると、女性従業員の約5割が女性特有の健康課題などにより職場で困った経験があると回答しています。

そのうち7割の方は月経痛や月経前症候群によるものと回答しています。

就労することが著しく困難な状態の場合、生理休暇の取得が認められていますが、なかなか取り難い実態があります。

その取得率は、2017年5月の厚生労働省の発表によると、昭和40年には26.2%だったものが、0.9%まで減少しているとのこと。

埼玉県健康経営認定制度に女性特有の健康課題に取り組む企業に対し加点することはいかがでしょうか。保健医療部長にお伺いを致します。

**部長：**生理休暇を取得しやすい環境の整備など女性特有の健康課題への取り組みを健康経営認定制度の認定基準の項目に追加し、健康経営をしっかりと推進してまいります。



### 【性的少数者(LGBTなど)の諸課題について】

**山根：**県内に暮らす多くの性的少数者の方は、知事が掲げたLGBTなどの権利を守るという公約に大いに期待しております。この問題につき改めて知事のご所見を伺います。

**知事：**パートナーシップ制度は、市町村において十分議論をして導入の是非を検討していくことが必要であると考えます。

まずは、市町村からパートナーシップ制度についての問い合わせに応じて、先行事例などを情報提供するという形で支援してまいります。

### 山根ふみ子プロフィール

昭和59年2月27日生まれ 元参議院議員山根隆治の長女 家族：父、母、兄、二人の娘(中3・小6)

地元、南古谷小中学校卒業 十文字学園女子短期大学部卒業 平成23年川越市議初当選

平成30年4月埼玉県議会議員2期目当選 福祉保健医療委員会 人材育成文化スポーツ振興特別委員会